

元気に「はいっ！」

- 特集① 市民と議会との対話  
テーマ「観光について」 P2～
- 特集② 平成29年度予算の審査 P6～
- 特集③ 3月定例会レポート 議案の審議結果  
・条例案など50件を審議 P10～
- 議案等議決結果一覧表 P12～
- 一般質問 9人の議員が市政を問う！ P14～
- 常任委員会レポート P24～

46号

2017. 4. 28 発行  
山梨県甲州市議会

こうしゅう 市議会広報

# 市民と議会との対話

平成29年1月30日開催  
於：市役所本庁舎第一委員会室

## テーマ 観光について

「市民と議会との対話」第6回目の今回は、建設経済常任委員会の企画・運営により開催されました。

本市は、豊富な地域資源に恵まれ、年間およそ200万人が訪れる県内でも有数の観光地です。

今年5月に運行開始予定の豪華寝台列車「トランスイート四季島」の停車駅となるなど、本市が持つ魅力は全国的に評価されている一方、地方都市の課題である不十分な公共交通網の克服や、東京オリンピックに向けて外国人観光客の誘客促進施策など、取り組むべき課題は多く残されています。

このような現状を踏まえ、本市の観光について、観光に関わる皆さん、塩山高校の生徒と建設経済常任委員会が意見交換を行いました。

観光に関わる皆さん

塩山高生

建設経済常任委



対話当日の様子。さらなる観光振興に向けて、それぞれの立場から活発な意見が出された

### 建設経済常任委員会

委員長 黒川 武雄  
副委員長 野尻 陽子  
委員 廣瀬 宗勝  
夏八木盛男  
日向 正  
廣瀬 明弘

### 塩山高校の皆さん



前列左から  
橘田樹さん、河野花凜さん、青柳日菜さん、古屋侖さん、堀内銀河さん、大澤勝希教諭

後列左から  
副島龍汰さん、永田楓さん、金澤滯さん、鴨下智也さん、豊島諒さん、荻野奈津美さん、堀井広大さん、小俣蓮さん、古屋瑠奈さん

# 現状と課題



甲州市への転入者

豊岡 翠さん



ワイナリー経営者

三澤礼子さん



甲州市観光協会 会長

保坂一久さん



宿泊施設若女将

竹川春日美さん



観光農園経営者

久保田雅史さん



交通事業者

広瀬孝行さん

**委員長** まず、本市における観光の現状と課題についてご意見をお聞かせください。

**保坂** 富士五湖周辺を訪れる観光客をこちらまで取りこめるようにしたいです。本市では、新たな観光資源としてトランスイート四季島の乗り入れやワインリゾート構想、世界農業遺産認定への取り組みなど注目が集まっていますので、これらをどう生かしていくのか、そのムードづくりが重要だと感じています。

**塩高生** 本市の観光資源をいかに首都圏の人たちに知ってもらおうかということも大切だと思います。

**三澤** 観光の目的が、昨今では地域独自の体験型ツーリズムに変わってきています。ツーリズムは、地域の本物を見せていくことで普及していくと思えますので、基幹産業であるブドウやワインづくりの産業基盤を整備することで、本市の魅力がさらに増す

のではないのでしょうか。

**豊岡** 結婚を機にこちらに移り住んできて、地元の方が地域の魅力に気づいていないと感じることがあります。現在は、着地型観光の旅行会社を立ち上げ、体験型のツアーを開催しています。ツアーに参加される方など、外からの声は大きなヒントになるので、そういう方々が来やすい環境を整えたいですね。

**塩高生** ビジネス観光という授業で本市について調べてきました。本市には歴史的文化財や自然がありますが、車がないと見て回るのが難しいので、それらを線でつなぐ取り組みが必要だと思います。

**広瀬** 季節に応じたルートを回る、塩山周遊バスの運行が予定されています。観光客数が地域によって偏っていると感じるので、来る方の利便性を向上させ、他地域にも足を運んでもらえるよう、さまざまな方策を考えたいです。

**豊岡** 首都圏では車を持っていない方も多く、電車で市内まで来た後の移動手段が限られています。電車の本数も多くないので、電車が来るまで有効に時間を過ごせる場所も必要ですね。

**塩高生** 山梨市駅や石和温泉駅のように、駅前に足湯をつくるのもいいと思います。

**竹川** 来ていただいたお客さまに、なるべく宿泊を絡めて滞在していただきたいですね。お客さまの声を聞くと、外から見ないと気づかない魅力がたくさんありますので、古くても素敵な本物を探し出していききたいです。

**久保田** 近年人気のシャインマスカットは、全国どこでも生産できるため、ブドウ産地としてのアドバンテージは減ってきています。他所から見れば本市のイメージは、やはりブドウとワインだと思うので、さらに特化して付随する効果で周りを盛り上げたいです。課題としては、未だに旧市町村単位に分かれている部分がありますので、甲州市として一体感のある横のつながりができればなと思っています。

※観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する新しい観光形態のこと。従来の「発地型観光」の対義語

## 目指すべき方向性

**委員長** 次に、今後目指すべき観光の方向性について伺っていきます。

**豊岡** 観光において大事なことは、地域のファンを増やすことだと思います。旅行の添乗員をしていた頃感じたのは、人の記憶に残るのは結局「人」だということです。「あの人が作ったあれを食べた」ということが記憶に深く残れば、リピーターにつながります。この人の所へお連れすれば、お客様に満足していただけるという方を、行政としても把握して後押ししていただきたいです。

**三澤** ワインツーリズムでワインづくりのセミナーをしています。募集をかけると満席になります。参加された方の中には、後日再び訪れてくださる方もいます。ワインツアーも企画をしてきました。昼食に地元食材を使った手作りランチをご用意し、本物の心を伝える「心のおもてなし」を心がけています。

その心が伝わると必ずリピーターになってくださいます。市全体でこんな「おもてなし」を広めていけたらと思っています。

**塩高生** おもてなしは個人の心がけでできることなので、お客さんのことを考えて行動することが大切だと思います。

**久保田** 観光農業について勉強した際、どの地域もJ A、企業、行政などの大きな組織が仕切っていて、その下で個が輝いているんですね。本市では、大半の観光農園がそれぞれのやり方でやっていますが、シャインマスカットの生産などを武器に、他地域が追い上げてきて、個の努力だけでは対応しきれない部分があります。甲州市全体として、まとまれるような対策を考えていきたいですね。

**塩高生** 宿泊についての情報が少ないので、宿泊施設のポスターを張るのはどうでしょうか。



フルーツ娘  
おもてなしの心で接することが大切

**保坂** 観光協会としてキャンペーンに出向いています。観光宣伝は協会や市などの組織で行うのがいいのかわ、個人に任せてインターネットで行った方がいいのかという問題に直面しています。これは、ポスターやパンフレットの紙媒体と映像媒体どちらがいいのかという問題につながります。紙媒体は取っておくことができるので、長い目で見れば、こちらの方がいいとは思っています。

**竹川** 現在、温泉旅館を取り巻く環境は非常に厳しいです。ポスターを作った積極的に行ける状態ではなく、いま来て下さっているお客様を一生懸命おもてなしすればそれでいいんじゃないかと、小さくまとまってしまうのが現状です。でも、こうして皆さんのお話を聞き、個々の施設で完結せずに、現状を変えつつ、同時に横のつながりを広げていくことが大切だと感じました。

# 望まれる施策

**委員長** 今後、本市にどのような施策を望むのか、ご意見をお聞かせください。

**保坂** ガイドマップなどへ



多くの人で賑わう甲州市中央防災広場「塩むすび」  
(写真は先日開催された塩ノ山ワインフェスの様子)

の掲載情報について、本市だけでなく、山梨・笛吹・甲府など近隣市の情報も入れてほしいという声を聞きます。また、J Aとタイアップして、本市ならではのモモやブドウの新品種開発に取り組み、甲州市ブランドを確立していきたいですね。

**久保田** ブドウの注目度が上がっているので、本市独自で「ブドウマイスター」や「ブドウソムリエ」の資格検定を行ってほしいです。農園経営者や市民のブドウに対する知識が向上することは、観光客へのおもてなしにも役立つと思います。

**豊岡** バスタ新宿が新設され、本市への交通手段として、料金の安い高速バスを利用される方の増加が見込まれますが、勝沼の高速バス停からの移動手段が限られているので、そこからの二次交通を考えていただきたいです。

**広瀬** 季節運行ですが、勝

沼の高速バス停から周遊バスが運行していますので、そちらを利用するのも一つの方法です。

**久保田** ペットと一緒に旅行する方が増えています。ペットと一緒に食事ができる場所やドッグラン、宿泊できる宿があると、新たな観光客の発掘に繋がると思います。

**豊岡** 観光客の方は、地元ならではの食を楽しみたいものですが、食事する場所を見つめるのに苦労している印象があります。ブドウ狩りを楽しんだ後や夜の時間帯では、限られたお店でしか食事ができないので、個人経営のお店が夜まで営業できるような施策があつたらいいと思います。

**塩高生** 若者から高齢者、外国人まで、人が集まるイベントを開催することも必要だと思います。

**三澤** ぜひ、高校生の若い皆さんの力で、これぞ甲州市というイベントをつくっていただき、そこにエネルギーを注いでほしいですね。イベントを行政に頼らず自分たちでつくり上げることは大変です

が、自分たちにとつても、市にとつても将来の大きな糧になると思います。私たち大人も協力やアドバイスはできるので、既成概念にとらわれない発想で頑張つてほしいと思います。

**塩高生** 授業やクラスで話し合い、計画を立てていくからなと思います。

**竹川** 夢や理想を持つて観光を語らなければいけないと感じました。塩山温泉の泉質は良いのですが、温度が20程度の冷泉です。一個人としての考えですが、「もう一度温泉を掘れるといいな」と思っています。

**保坂** 観光の基本は、1度来た人が2度、3度と来ていただくことだと思います。2度目は友達の家に行く気持ちで行く気持ちで来ていただくことが良い観光です。私たちもリピーターを増やす活動をしていきたいです。

**委員長** 皆さんにいただいたご意見を今後の活動に生かしたいと思います。本日はありがとうございました。

※新宿高速バスターミナルのこと

# 予算 一般会計

## 163億8000万円の予算

### まちづくりへの予算編成を問う

一般会計とは、福祉、衛生、土木、教育など、市の運営に関する基本的な経費を計上している会計で、市税や地方交付税を主な歳入としています。

平成29年度の予算案は、各常任委員会へ所管事項ごとに付託され、3月8日から14日にかけて審査を行い、原案のとおり可決すべきものと決しました。「景気の回復基調が市税に反映されつつあるが、普通交付税の段階的縮減などにより、依然として厳しい状況が続くなかで、国の予算編成の動向や地方財政対策、社会経済情勢の推移等に留意した予算編成」(施政方針の抜粋)となりました。

主な質疑を要約してお伝えします。

#### 歳入

##### ■市税

問 固定資産税はどのように予算計上したのか。

答 償却資産の年数経過に伴う減額よりも、新築家屋の増加による増額が大きく、平成28年度と比べ、1割増額計上した。

問 軽自動車税について、SS等の登録啓発により、税収を増やす考えはあるのか。

答 広報等による啓発活動に加え、償却資産の申告者に対しても通知を行い、

登録を促進していく。

問 入湯税が減額計上されているのはなぜか。

答 日帰り入湯客が減少しているためである。

##### ■使用料及び手数料

問 証明書の窓口交付とコンビニ交付の割合を問う。

答 窓口交付が約6割、コンビニ交付が約4割である。

##### ■寄附金

問 ふるさと納税寄附金を充当する事業を問う。

答 景観形成事業分に8

##### ■市債

問 合併特例債の発行可能残額を問う。

答 執行率は99・7割で、発行可能残額は3360万円である。

#### 歳出

##### ■総務費

問 総合案内が機能していないと感じている。人材教育や対応のチェックが必ずやだと考えるが、いかがか。

答 人材派遣会社と話し合い、派遣スタッフの指導をしていきたい。

問 出合いサポート事業の内容を問う。

答 18人の相談員による結婚相談を実施する。また、出合いの場の創出として、

##### ■消防費

問 本市消防団の出勤手当は、他の自治体と比べて低いのか。

答 年額18000円で、近隣市と同程度である。

問 建設を予定している3カ所の消防団詰所の完成予定を問う。

答 奥野田分団新第1部詰所は、平成29年度中に、奥野田分団新第2部及び塩山分団第3部詰所は、30年度中に完成したいと考えている。

問 消防団員や消防団協力員の確保を、どのように進めていくのか。

答 装備の充実や消防活動におけるけがの補償を用意し、進めていく。



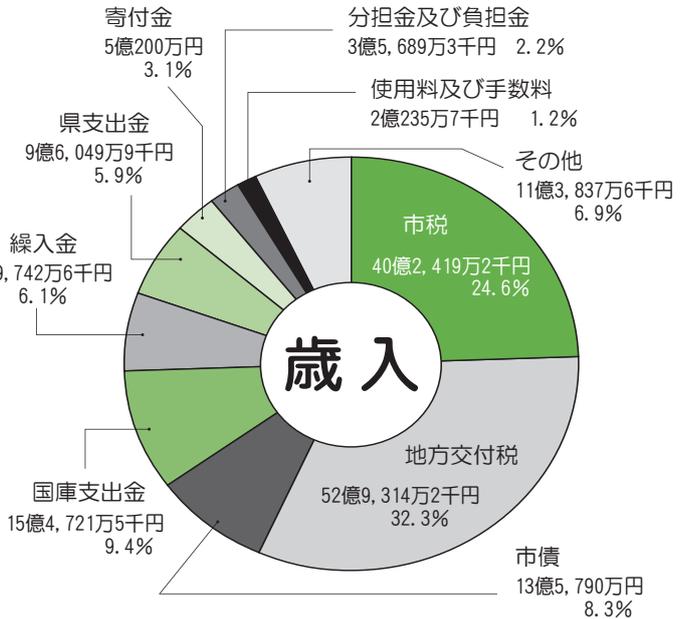
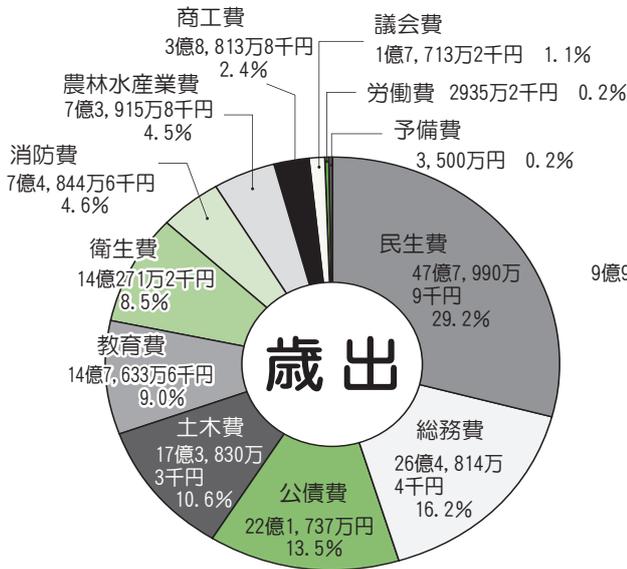
一般会計の当初予算は前年度比8億6800万円の減となった。予算の効率的・効果的な執行が求められる

※農業用薬剤散布車のことでスピードプレーヤーの略

平成29年度

# 一般会計の予算額

# 163億8,000万円



## 林道源次郎線開設事業

# 完了に向け3810万円余を計上

### ■農林水産業費

問 山で被害が多い松くい虫の対策について問う。

答 県から補助を受け、1000万円ほどの予算で進めているが、対策が追い付いていないのが現状である。

問 林道源次郎線の整備に3810万円が計上されているが、事業の進捗よく状況を問う。

答 平成18年度から整備を行っており、総延長は1649mである。29年度に約137mを施工し、県営林道と接続して完了となる。

### ■土木費

問 塩山ふれあいの森総合公園の管理費をもう少し抑えられないか。

答 一般の造園業者ではなく、安価なシルバー人材を使うなどの努力をしている。

### ■教育費

問 図書館の書籍購入費が4館で800万円程度だが、十分足りているのか。

答 例年並みの予算を確保している。なお、平成27年の年間資料費は県内13市中7番目であった。

### ■労働費

問 勤労青少年ホーム費が、平成28年度比372万円増額されているのはなぜか。

答 施設整備の方向性を検討するための、基礎的な調査を行うためである。

### ■民生費

問 生活保護の受給者数を問う。

答 平成29年1月末現在、252世帯、322人である。

### ■商工費

問 レンタサイクル事業に387万円が計上されているが、これまでの利用状況を問う。

答 福祉タクシーシステムの事業費の内容を問う。

### ■衛生費

問 不妊治療助成事業補助金に600万円が計上されているが、内容を問う。

答 夫婦のいずれかが継続して1年以上甲州市民である等の要件を満たす方に対し、1回につき15万円を限度に6回まで助成するものである。平成27年度は延べ42回の支出であった。

### ■教育費

問 不審者情報や鳥獣害の危険を、教職員や登録されている保護者にメール発信するシステムである。

問 中央公民館の自主事業の計画を問う。

答 主なものとして、劇団四季とよしもとふるさと劇団の公演を計画している。

# 特別会計

# 企業会計

特別会計とは、特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計と区別して設けられる会計です。企業会計とは、市が運営する企業（公営企業）の会計です。

## 国民健康保険事業

# 50億3223万円を予算計上

### ■国民健康保険事業

**問** 疾病予防費が831万円の減額となった理由を問う。

**答** 平成28年度はレセプト点検のシステム化を進めたため、新規のシステム委託料があった。29年度はデーター更新業務となり、その分が減額となるためである。

**問** 財政調整基金の平成27年度末の残高を問う。

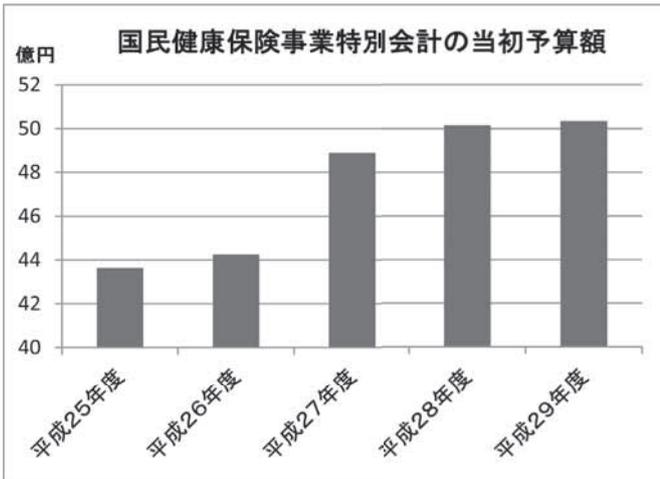
**答** 1億6261万円である。

**問** 平成30年度から実施される国保の都道府県単位化に伴い、基金の取り扱いはどうなるのか。

**答** 各市町村が保有している基金は引き続きそれぞれの市町村で管理する。

**問** 本市における国保加入者の割合を問う。

**答** 平成29年1月末現在、



年々増額する国保会計。医療費抑制が喫緊の課題である

29・8割が国保に加入している。  
**問** 薬価の改定で高額薬が減額となるが、減額を想定した予算編成となっているのか。

**答** C型肝炎の錠剤やオプジーボ（新たながん治療薬）等の高額な薬剤が平成27年度の医療費を圧迫した。28年度に国が薬価の改定を行って以降、全国的に

医療費が減少傾向となっている状況を加味し、予算を編成した。

**問** 1件80万円を超える高額医療の内容を問う。

**答** 腎不全による透析である。現在、透析患者が37人おり、1人当たり年間約500万円の医療費がかかっている。

**問** 健康診断の受診状況を問う。

**答** 平成27年度の実績は、56・7割で県内13市中トップの状況を維持しており、国からの評価も得ている。

### ■診療所事業

**問** 大藤診療所の外来患者数を問う。

**答** 年間延べ4073人、1日平均17・2人である。

**問** 医師が見つからない可能性はあるのか。

**答** 最悪の場合、当面休診という場合もある。

### ■介護保険事業

**問** 居宅介護福祉用具購入費補助事業と、居宅介護

住宅改修費補助事業の、1件当たりの上限額と想定する件数を問う。

**答** 前者は上限10万円、後者は上限20万円であり、どちらも85件を見込んでいる。

**問** 一般管理費が1億2887万円の減額となった要因を問う。

**答** 平成28年度は地域密着型の施設建設に対する補助があったが、29年度は建設予定がないためである。

**問** 一般介護予防事業費に委託料487万円が計上されているが、どのような介護予防教室を実施するのか。

**答** 転倒骨折の予防を目的に、いきいき健康教室を年144回ほど実施する。

### ■訪問看護事業

**問** 居宅介護サービス費収入が、1200万円の減額となった要因を問う。

**答** 平成28年度は訪問看護師が2人減員となったため、利用件数が減少した。このことを反映して29年度予算を編成したためである。

平成29年度  
特別会計・企業会計の予算額

国民健康保険事業特別会計	
歳入歳出	50億 3,223万 6千円
診療所事業特別会計	
歳入歳出	6,196万 4千円
後期高齢者医療特別会計	
歳入歳出	4億 843万円
介護保険事業特別会計	
歳入歳出	35億 5,379万 1千円
居宅介護予防支援事業特別会計	
歳入歳出	1,039万 1千円
訪問看護事業特別会計	
歳入歳出	5,317万 5千円
下水道事業特別会計	
歳入歳出	14億 3,829万 8千円
簡易水道事業特別会計	
歳入歳出	10億 658万 8千円
大藤財産区特別会計	
歳入歳出	447万 5千円
神金財産区特別会計	
歳入歳出	595万 4千円
萩原山財産区特別会計	
歳入歳出	1,660万円
竹森入財産区特別会計	
歳入歳出	87万 5千円
岩崎山保護財産区管理会特別会計	
歳入歳出	38万円
水道事業会計	
事業収益	4億 9,494万 5千円
事業費用	4億 6,368万 6千円
勝沼ぶどうの丘事業会計	
事業収益	10億 6,210万 5千円
事業費用	10億 3,306万 9千円
勝沼病院事業会計	
事業収益	2,459万 1千円
事業費用	2,459万 1千円

簡易水道事業

菱山浄水場（仮称）第2期工事に着手

■下水道事業

問 下水道事業の進ちょく状況と今後の計画を問う。

答 下水道整備面積は、計画区域面積の53・3%である。今後の計画としては、市中心部の整備が行き届いていない箇所を、重点的に整備していく考えである。

■簡易水道事業

問 現在予定されている整備事業の内容を問う。

答 主なものとして、塩山地区では、上萩原浄水場から上下小田原地域へ送水するための、送水管及び配水管の打設を行う。勝沼地区では、平成29年度に、菱山浄水場（仮称）の第2期造成工事を実施する。

■水道事業

問 配水管の地震対策はどのような状況なのか。

答 本市の基幹管路にお

いて、塩山地区で約27%、勝沼地区で約20%の配水管が、現行の耐震基準を満たしている。基準を満たしていない配水管については、布設替え等の際に、基準を満たすものに取り替えるなど対応している。

■勝沼ぶどうの丘事業

問 職員体制を問う。

答 現在、市から出向している事務職が2人、ぶど

うの丘で採用された技能労働職が12人、嘱託職員が18人、パートが33人、計65人という体制である。

問 平成28年度と比べ、技能労働職が1人増えていたのはなぜか。

答 3月末で1人が退職し、平成29年度で新たに2人を採用するためである。

問 仕入れ業者の選定方法を問う。

答 平成28年4月から、仕入れ材料納入業者登録制度を導入しており、納入を希望する業者は、登録申請をしなければならぬ。申請に基づき、仕入れ材料納

入業者選定審査委員会において審議し、納入を許可するという方法をとっている。

問 経営改革委員会の役割を問う。

答 事業管理者が、ぶどうの丘の経営について諮問するための委員会である。

地域医療の拠点である勝沼病院の運営状況は

■勝沼病院事業

問 勝沼病院の運営状況を問う。

答 病床利用率の低下等により経営は非常に厳しい状況である。常勤医師1人で運営しており、内科の常勤医師を増やすことが経営改善に繋がると考えられるため、今後、指定管理者に要望していきたい。

■萩原山財産区

問 恩賜林記念館が傷んできているが、修繕や建て替えなど、今後の方向性をどのように考えているのか。

答 建築年数が経過しており、修繕をしながら利用していくことを考えているが、今後の方向性については、管理運営委員会で検討していきたい。

## 3月定例会レポート 議案の審議結果

平成29年甲州市議会3月定例会は、2月22日から3月16日までの23日間の会期で開かれ、平成29年度各会計予算案、平成28年度一般会計補正予算案、人事案など50件の事件について慎重な審議を行いました。主な議決内容を要約してお伝えします。

（審査の詳細は24頁からの常任委員会レポートを参照）

# 条例案など50件を審議

# 甲府・峡東クリーンセンター関連条例案等を可決

◆環境センター設置及び管理条例の一部改正は、市環境センターの利用について、市民の利便性を図るため、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

川観光交流センターの利用に関して、甲州市民も笛吹市民と同様に利用可能とするもので、可決しました。

◆廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正は、甲府・笛吹・山梨・甲州の4市で運営する新ごみ処理施設「甲府・峡東クリーンセンター」の4月1日からの本格稼働により、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆市税条例等の一部改正は、地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の環境性能割の創設のため所要の改正を行うとともに、山梨県税条例等において、身体障害者等に対する自動車税の減免制度を見直す改正が行われたことに鑑み、軽自動車税における身体障害者等に対する減免制度についても、同様の見直しを行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び

運営に関する基準等を定める条例の一部改正は、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、本市の地域密着型通所介護及び療養通所介護に関する基準を定める改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆笛吹市の公の施設の利用に関する協議については、

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び

するもので、可決しました。

### 国家賠償を求める請願 討論・採決により不採択

◆治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める意見書の提出を求める請願は、総務常任委員会に付託して審査を行いました。本会議では、本請願を「不採択すべきもの」とした総務常任委員長の報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、委員長報告のとおり不採択となりました。

が、これは公の確定した数値がないためである。治安維持法はポツダム宣言受諾後に廃止され、治安維持法により処罰された人々は無罪となったが、政府はいまだその犠牲者に対し謝罪も賠償もしておらず、委員長報告に反対する。

◆委員長報告に賛成討論  
矢野義典 過去、国会に提出された類似した請願を調査したところ、虐殺された人数や獄死者数など、今回本市に提出されたものと数字、内容に大きな隔たりがある。また、請願者が県内他市に提出した請願と比較しても、数字、内容の隔たりは顕著であり、信頼性に欠けるため、委員長報告に賛成する。

◆委員長報告に反対討論  
野尻陽子 常任委員会ですら「不採択すべきもの」となつたのは、請願文書中の逮捕者数や獄死者数などが他の資料と異なるためである

◆特定個人情報保護条例の一部改正は、個人情報保護法等の改正により、特定個人情報提供できる場合として、地方公共団体で定める独自利用事務について、情報提供ネットワークを用いた情報連携が可能になることから、所要の改正を行う必要があるため制定

するもので、可決しました。

## 平成28年度一般会計予算

### 総額は188億円余に

◆市職員の給与条例等の一部改正は、人事院勧告による給与改定に関するものであり、平成28年12月定例会において可決されましたが、その後、県において扶養手当について国の制度と異なった給与改定がなされ、県内市町村は県に準じることとなったため、関係条例の改正を行うもので、可決しました。

◆平成28年度一般会計補正予算(第5号)をはじめとする、給与改定に係る補

正予算案9件(議案第29号から第37号、議案名は12件からの議案等議決結果一覧表を参照)は、それぞれ原案のとおり可決しました。

◆平成28年度一般会計補正予算(第6号)は、5億3080万3000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ188億1662万4000円としました。主な歳出内容は、**総務費**としてふるさと支援基金積立金等に5億4651万円を追加し、**土木費**は社会資本整備総合

交付金事業等を5207万4000円減額するものです。主な歳入内容は、**寄附金**に9952万7000円、**繰越金**に4億8870万6000円を追加し、**繰入金**を2億4132万2000円減額するものです。本会議では「可決すべきもの」として各常任委員長

の報告に異議が出されませんが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)は、6122万1000円を減額し、歳入歳出をそれぞれ50億3642万3000円としました。主な歳出内容は、**共同事業拠出金**を3629万7000円減額するものです。主な歳入内容は、**繰入金**に7687万1000円を追加し、**共同事業交付金**を8259万2000円減額するもので、可決しました。

◆平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)は、1億8003万6000円を減額し、歳入歳出をそれぞれ6億3847万6000円としました。

◆平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は、543万2000円を減額し、歳入歳出をそれぞれ3億9385万4000円としました。歳出としては、**後期高齢者医療広域連合納付金**を543万2000円減額し、歳入としては、**繰入金**を同額減額するもので、可決しました。

◆平成28年度一般会計補正予算(第5号)をはじめとする、給与改定に係る補

正予算案9件(議案第29号から第37号、議案名は12件からの議案等議決結果一覧表を参照)は、それぞれ原案のとおり可決しました。

◆平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は、543万2000円を減額し、歳入歳出をそれぞれ3億9385万4000円としました。歳出としては、**後期高齢者医療広域連合納付金**を543万2000円減額し、歳入としては、**繰入金**を同額減額するもので、可決しました。

## 広報コンクールで最優秀賞を受賞



山梨県広報協会の主催による、平成28年度山梨県広報コンクール「議会広報紙部門(市部)」において、当市議会広報44号が最優秀賞を受賞しました。今後も読みやすく、分かりやすい編集を心がけ、皆さまに親しまれる広報紙の発行を目指していきます。

◆平成28年度下水道事業



各常任委員会を含め、23日間の会期で開催された3月定例会

# 平成29年度一般会計予算は

## 討論・採決により賛成多数で可決

◆平成29年度一般会計予算は、「可決すべきもの」として各常任委員長の報告に異議が出されませんが、討論・採決の結果、賛成多数で可決し、歳入歳出それぞれ総額を163億8000万円としました。（歳入歳出の詳細は7ページの円グラフを参照）

◆委員長報告に反対討論  
川口信子 福祉の充実とまちづくりの推進、地域経済の活性化が一層求められ

◆平成29年度の各特別会計・企業会計予算案（全16

ているが、商工分野では抜本的な対策がなされておらず、また、学校給食費の無料化など子どもへの貧困対策にも早急な対応が必要である。甲州市版ネウボラへの努力や文化財、観光面での施策の展開や農業分野での後継者対策など、認められる点も多くあるものの、これらの事由から本予算案に反対する。

### 3件の人事案に同意

◆大藤財産区管理委員に、廣瀬泰男氏（71・塩山下粟生野）を補充選任することに同意しました。

◆岩崎山保護財産区管理委員に、秋山美峰氏（67・勝沼町下岩崎）、渡邊恵佐良氏（60・勝沼町下岩崎）、早川菊夫氏（66・勝沼町下岩崎）、金井正美氏（70・勝沼町上岩崎）、岩間茂貴氏（62・勝沼町上岩崎）、小川眞澄氏（64・勝沼町藤井）を補充選任することに同意しました。

# 新議長に丸山国一議員

3月定例会初日には議長選挙及び副議長選挙が行われました。議長選挙は無記名投票の結果、丸山国一議員（61・塩山上於曾）が、副議長選挙は指名推選により、岡部紀久雄議員（66・塩山上於曾）が当選しました。

### 【選挙結果】

当選 丸山国一（8票）  
岡 武男（8票）  
無効票（1票）

【副議長】 岡部紀久雄

※議長選挙の投票総数は17

票。得票数が同数のためににより決定。委員会等の構成に一部変更がありました。

◆議会広報編集委員会  
【委員会構成】（○委員長、○副委員長、年齢順）  
○廣瀬明弘 ○平塚 義  
○廣瀬宗勝 ○古屋 久  
夏八木盛男 丸山国一  
高畑一幸 中村勝彦

### ◆釈迦堂遺跡博物館組合

平塚 義 丸山国一  
日向 正 岡部紀久雄  
相澤俊行 廣瀬明弘

### ◆人権擁護委員に、三科典子氏（72・塩山西広門田）を推選することに同意しました。

◆人権擁護委員に、三科典子氏（72・塩山西広門田）を推選することに同意しました。

# 平成29年3月定例会 議案等議決結果一覧表

（賛成＝○ 反対＝● 退席＝△ 欠席＝欠） ※丸山国一議長及び矢野義典前議長を除く

種別	議案番号	議 員 名	議 案 名													結 果					
			高畑一幸	廣瀬明弘	黒川武雄	相澤俊行	岡部紀久雄	日向正	川口信子	中村勝彦	丸山国一	矢野義典	夏八木盛男	古屋久	古屋匡三		平塚義	野尻陽子	岡武男	廣瀬宗勝	
条 例 案	議案第1号	甲州市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第2号	甲州市長等の給与及び旅費条例等の一部を改正する条例制定について																			
	議案第3号	甲州市税条例等の一部を改正する条例制定について																			
	議案第4号	甲州市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び甲州市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について																			
	議案第5号	甲州市職員給与条例の一部を改正する条例制定について																			
	議案第6号	甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	甲州市環境センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について																			
	議案第8号	甲州市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について																			
	議案第9号	甲州市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について																			

次ページにつづく

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	高	廣	黒	相	岡	日	川	中	丸	矢	夏	古	古	平	野	岡	廣	結		
			畑	瀬	川	澤	部	向	口	村	山	野	八	屋	屋	塚	尻	岡	瀬		果	
			一	明	武	俊	紀	正	信	勝	国	義	木	久	匡	義	陽	武	宗			
条 例 案	議案第10号	甲州市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第11号	甲州市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
予 算 案	議案第12号	平成29年度甲州市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第13号	平成29年度甲州市国民健康保険事業特別会計予算																			議 長	
	議案第14号	平成29年度甲州市診療所事業特別会計予算																				
	議案第15号	平成29年度甲州市後期高齢者医療特別会計予算																				
	議案第16号	平成29年度甲州市介護保険事業特別会計予算																				
	議案第17号	平成29年度甲州市居宅介護予防支援事業特別会計予算																				
	議案第18号	平成29年度甲州市訪問看護事業特別会計予算																				
	議案第19号	平成29年度甲州市下水道事業特別会計予算																				
	議案第20号	平成29年度甲州市簡易水道事業特別会計予算																				
	議案第21号	平成29年度甲州市大藤財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議案第22号	平成29年度甲州市神金財産区特別会計予算																				
	議案第23号	平成29年度甲州市萩原山財産区特別会計予算																				
	議案第24号	平成29年度甲州市竹森入財産区特別会計予算																				
	議案第25号	平成29年度甲州市岩崎山保護財産区管理会特別会計予算																				
	議案第26号	平成29年度甲州市水道事業会計予算																				
	議案第27号	平成29年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計予算																				
議案第28号	平成29年度甲州市勝沼病院事業会計予算																					
補 正 予 算 案	議案第29号	平成28年度甲州市一般会計補正予算（第5号）																			議 長	
	議案第30号	平成28年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）																				
	議案第31号	平成28年度甲州市診療所事業特別会計補正予算（第2号）																				
	議案第32号	平成28年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）																				
	議案第33号	平成28年度甲州市訪問看護事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議案第34号	平成28年度甲州市下水道事業特別会計補正予算（第3号）																				
	議案第35号	平成28年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）																				
	議案第36号	平成28年度甲州市水道事業会計補正予算（第2号）																				
	議案第37号	平成28年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算（第4号）																				
	議案第38号	平成28年度甲州市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第39号	平成28年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）																					
議案第40号	平成28年度甲州市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																					
議案第41号	平成28年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長		
議案第42号	平成28年度甲州市訪問看護事業特別会計補正予算（第3号）																					
議案第43号	平成28年度甲州市下水道事業特別会計補正予算（第4号）																					
議案第44号	平成28年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）																					
其 他 の 案 件	議案第45号	東山梨行政事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長		
	議案第46号	笛吹市の公の施設の利用に関する協議について																				
人 事 案	議案第47号	大藤財産区管理委員の補充選任について																		議 長		
	議案第48号	岩崎山保護財産区管理委員の補充選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	議案第49号	人権擁護委員の推薦について																				
請 願	請願第1号	治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める意見書の提出を求める請願	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択		

※議案第1号、第29号～第37号は議長選挙前に議決しました。

## 9人の議員が市政を問う！



# 一般質問

3月定例会では、産業・教育・福祉・防災・観光・基盤整備など市政全般にわたり、3月3日・6日の2日間、一般質問が行われました。  
それぞれの内容を要約してお伝えします。

1	野尻 陽子 議員	甲州世直しやるじゃん会	15 ページ
2	相澤 俊行 議員	希望の風	16 ページ
3	川口 信子 議員	日本共産党	17 ページ
4	平塚 義 議員	甲輝会	18 ページ
5	黒川 武雄 議員	政和クラブ	19 ページ
6	廣瀬 明弘 議員	政和クラブ	20 ページ
7	日向 正 議員	希望の風	21 ページ
8	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	22 ページ
9	古屋 匡三 議員	希望の風	23 ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。また、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。  
掲載・発行はいずれも6月上旬の予定です。



**野尻陽子議員**

甲州世直しやるじゃん会

**A**

**着実に成果を上げている**

**Q**

**農業関連補助事業の効果は**

**問** 農業土木への補助金の額と成果を問う。

**答** 補助事業は現在、県営担い手支援型畑地帯総合整備事業4カ所、農村地域防災事業1カ所、東山東部歩道設置工事1カ所の6事業を実施している。平成19年度から27年度までの総事業費は、62億833万円を投資しており、総事業費のうち国が50割、県が25割、市が25割の負担率で事業を実施している。本市の基幹産業である農業農村の振興を図る目的で、地域からの要望を受け、国に申請し、採択された地域を実施している。整備後は関係者から「農地が使いやすくなり、機械化により事業収益が増えた」との意見をいただいている。

**問** 農業、人、6次産業化に係る補助金の概略を問う。

**答** 平成27年度の農業分野の補助金は、雪害復旧に

関するものを除くと6300万円ほどである。主な内訳は、有害鳥獣対策に2200万円、青年就農給付金に1575万円、6次産業化の補助に850万円などである。人に対する補助は

青年就農給付金とアグリマスタ制度がある。前者は優れた農業者を育成するための国の補助事業で、後者は優れた農業者から実践的な農業を学ぶもので、市の補助事業である。6次産業化は県の補助事業で、ワイナリーが個性あるワインを醸造する等の事業に対して支援するものである。

**問** 後継者を育てるための補助金の投入金額と人材確保の状況を問う。

**答** 過去4年間で総額5375万円である。青年就農給付金を受け研修をしている方は13人、アグリマスタ制度によって支援する研修修了者は23人である。

ほぼ全員が市内で就農を続けており、成果が上がっていると考えている。

**問** 農業の補助金申請の手続きについて問う。

**答** 市民の立場になって真摯に対応を行っている。国や県にはさまざまな補助金の制度があるが、一部の人がだけ知っているとということがないよう、広報紙やホームページを通じて周知していきたい。

**デマンドバス料金改定で利用者が減少傾向**

**問** デマンドバスの料金体系の変更に伴う利用者の状況と現状を問う。

**答** 平成27年度は1日平均91人の利用者であった。

28年度は1月末で、1日平均74人となり21割減少している。また、市民からの要望を受け、システム変更を行う予定である。今後もさらに使いやすい市民バス運行を目指して取り組んでいきたい。

**問** 塩寿荘閉館後の対応について問う。

**答** 温泉の利用者については、社協が1日2便の送迎バスを運行し対応している。平成29年4月からは、デマンドバスの共通エリアが延長され、塩山地域から勝沼健康福祉センターまで乗り継ぎなしで行けるようになる。各種趣味の家事業は、市民文化会館の空き施設を活用し、開催している。



利便性を高め、デマンドバスの利用者を増やしていきたい

相澤俊行議員

希望の風



訪問診療や出張診療など大藤診療所が果たしてきた役割は大きい

Q 大藤診療所  
常勤医

A 確保が厳しい状況である

後任者の選考状況は

問 大藤診療所の常勤医が3月末で退職となるが、後任者の選考状況を問う。

答 関係機関に要請を行っているが、後任の常勤医の確保が厳しい状況である。

問 今まで大藤診療所の常勤医が、出張診療や訪問診療を行ってきたが、後任

者を確保できない場合、どのように対応するのか。

答 市内外の開業医から協力を得ることができたため、現在、業務の引継ぎを行っているところである。

問 医師不足等の懸念が表面化しており、将来の地域医療構想の構築に、着手すべき時が迫っていると考

えるが、本市の医療体制の現状と将来像を問う。

答 県地域医療構想において、塩山市民病院と勝沼病院は、在宅、救急医療等を提供する役割を、大藤診療所は中山間地域に医療を提供する役割を担っている。将来的には、医療、介護等を一体的に提供できる体制の構築が必要だと考えている。

問 学級の男女比の極端な偏りを理由に、別学区の小学校への入学を認められた理由を問う。

答 保護者と十分に面談

し、教育委員会と協議して決定したものである。

問 男女比の偏りが生じやすいというデメリットがあるにもかかわらず、少人数学級編制を問題なしとしてきた根拠を問う。

答 教育長 学校は教育の場であるとともに、地域コミュニティの拠点でもあり、地域の状況や特別な事情に応じて、保護者や地域と連携し、教育環境の構築を考えている。

幅広い人材確保に向け  
職員採用試験見直しを

問 職員採用試験について、過去3年間の行政職の学卒区分別受験状況を問う。

答 平成27年度は、大卒受験者49人のうち合格者13人で倍率3・8倍。短大卒受験者9人うち合格者なし。高卒受験者5人のうち合格者なし。28年度は、大

卒受験者41人のうち合格者11人で倍率3・7倍。短大卒受験者7人のうち合格者なし。高卒受験者6人のうち合格者1人で倍率6・0倍。29年度は、大卒受験者38人のうち合格者4人で倍率9・5倍。短大卒及び高卒受験者15人のうち合格者1人で倍率15・0倍である。

問 本市の受験を促すような動画をホームページで発信することで、市のPRと優秀な人材の確保につながるかと考えるが、いかがか。

答 動画等による情報発信については、検討していく。

問 教養試験を廃止し、代わりとして、SPI試験を導入する考えはあるのか。

答 現在、教養試験、専門試験並びに職場適用性検査を実施しているが、どちらがよりの確な選考手法であるか研究していきたい。

問 常勤職員と任期付職員の双方を受験できる、ダブルエントリー方式の導入を提言するが、いかがか。

また、任期付職員を対象に、行政実務経験者採用試験を導入する考えはあるのか。  
答 本市の行財政規模を考慮すると、導入は難しいと考えている。

\*学力や知識だけを問うものではなく、性格や能力などの面から総合的に判断するテストのことで、民間企業の入社試験において多く利用されている



川口信子議員

日本共産党

Q 子どもの貧困対策に向けた取り組みは

A 4つの支援で貧困家庭を救う

**問** 子どもの貧困対策について、本市ではどのような対策を講じているのか。

**答** 平成26年1月に施行された子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づき、支援を実施している。教育支援では、学力向上フット

アップ事業や生活困窮者子どもの学習支援事業を実施している。また、生活支援では、ひとり親家庭等を対象に家庭相談員による相談指導を実施している。さらに、就労支援では、公立保育所における延長保育等を実施している。加えて、経済支援では、ひとり親家庭医療費助成や学用品費等の就学支援を実施している。

**問** 住宅リフォーム補助事業の実施状況と効果を問う。

**答** 平成26年から実施し、28年までに164件の利用があった。補助金額は135万4000円で、市内

施行業者41社が工事を請け、総工事費は約3億598万3000円である。住環境の整備だけではなく、地域の経済活性化につながる効果があると認識している。

**問** 商店や事業所のリフォームにも助成を行い、地域経済活性化に貢献すべきだと考えるが、いかがか。

**答** 直ちに実施することは難しいが、設備投資等に商工振興資金貸付制度を利用できるため、制度を周知していきたい。

**指定管理者制度運用は適切か**

**問** 指定管理者制度について、現在、指定管理料が支払われている施設とその金額を問う。

**答** 全指定管理者制度導入施設である16施設のうち、12施設へ指定管理料を支払っている。平成28年度に支

払われた指定管理料は、勝沼健康福祉センターは3250万円、田野の湯は1250万円、鈴宮寮は3000万円、天目山温泉及び日川渓谷レジャーセンターは600万円、大和自然学校は1100万円、道の駅甲斐大和及び農産物加工体験施設は324万円、大菩薩の湯は648万円、塩山B&G海洋センターは2500万円、勝沼B&G海洋センターは477万2000円、環境センターし尿処理場は3712万4000円である。

**問** 指定管理者制度導入施設の費用対効果を、どのように判断しているのか。

**答** 各事業年度の終了後に、指定管理者から事業報

告書や財務資料を提出させ、モニタリングを実施している。その結果を踏まえて、次年度の指定管理料を決定しており、費用対効果の向上に努めている。

**問** 昨年12月の定例会において、勝沼病院の指定期間を5年から3年に短縮する理由として、経営形態の早急な改善の必要性を述べている。どのような改善が必要なのか、見解を問う。

**答** 急性期病床でありながら慢性期の患者が多いことや、常勤医と比べて、人件費が割高な非常勤医が多いことから、診療報酬による経営に限界があり、早急な改善が必要である。県地域医療構想を踏まえ、今後の方向性を検討していきたい。



経営形態の早急な改善が必要とされている勝沼病院

※1 症状が急激に表れる時期のこと。集中的に医療を提供するため、入院期間が比較的短いという特徴がある  
 ※2 病状は比較的安定しているが、継続的な治療等が必要な状態が続いている時期のこと

平塚 義議員

甲輝会



経営戦略の早期策定が求められている勝沼ぶどうの丘

Q ぶどうの丘 経営戦略 公表しない理由は

A 修正を要するためである

**問** 昨年12月の定例会において、ぶどうの丘事業の経営戦略が作成されているか否かを尋ねたが、明確な回答が得られなかった。通告した質問に対して、明確に答弁することは当然のことと考えるが、いかがか。

**答** 説明不足があり、申し訳なかつた。現在、経営戦略の全体的な見直しを行っているところである。

**問** 平成28年3月の日付が付された、ぶどうの丘事業経営戦略という資料が手元にある。28年3月の時点で、経営戦略は完成していたのではないか。

**答** 平成29年度当初予算は、ふるさと納税のお礼に充てる特産品の売り上げが、好調に推移していることから、28年度当初予算より、事業収益を約2996万円増額して、約10億6210万円とした。

**問** おおむね完成していたが、10年後に赤字となる予想が出たため、修正作業を行っているところである。

**問** 長期的な戦略だけではなく、短期的な戦略もあるはずだが、今まで公表できなかったのは、なぜか。

**答** 短期的な経営計画として、当初予算書に事業収益や利用人数等の見込みを記載している。

勝沼支所別館整備 市民の声を聞いたのか

**問** 地方創生拠点整備交付金を活用する事業は、市民が本場に求めた事業なのか。

**問** 菱山地域に建設中の浄水場について、建設期間と完成予定を問う。

※複数の企業や利用者が共同利用するオフィスのこと。地方で事業を行う際の拠点としても用いられる



黒川武雄議員

政和クラブ

Q J R 3 駅 周辺整備のコンセプトは  
A 各地域の特性を生かした整備を進める

**問** 市内J R 3 駅の周辺整備のコンセプトを問う。  
**答** 塩山駅は「病院や学校、観光施設などとの連携を図り、周辺住民が便利に安心して暮らせて、にぎわいを取り戻せる拠点」として、勝沼ぶどう郷駅は「ぶどう畑の景観を生かし、ワイン産業、ぶどう栽培と観光を連携し、景観の拠点」として、甲斐大和駅は「登山客等でにぎわう駅として跨線橋へのアーケード設置やトイレの改修を進め、利用者により良い拠点」として、それぞれ整備を進める。

**問** 甘草屋敷をメイン会場に、ひな飾りと桃の花まつりが開催されているが、他施設でのひな飾りの展示状況を問う。  
**答** 武田信玄公宝物館、宮光園、大菩薩の湯、道の駅甲斐大和など、市内11カ所で展示している。

**問** 市で保有する庁用バスの運行状況及び利用状況を問う。  
**答** 庁用バスは、大型（29人乗り）と中型（24人乗り）の2台がある。平成28年度の土日を含んだ運行状況は、大型が183日で稼働率は50・1割、中型が171日で稼働率は46・8割となる。特に、10月、11月は利用が集中し、2台合わせて75・4割の稼働率となっている。利用状況は、

庁用バスの稼働率  
ハイシーズンは75割超



整備が進む塩山駅周辺。今後のまちづくりの拠点としたい

市で主催する各種イベント、各地区の公民館活動、保育園や小中学校の校外活動などが主なものである。なお、庁用バスは白ナンバーのため、行政目的の使用に限られ、不特定多数を乗車させることはできない。

**問** 塩山駅前広場等へのイルミネーション設置事業の予算を問う。  
**答** 塩山駅南口のイルミネーション事業は28万円の予算で実施している。また、紅白のれん街、商店街、およつちよいプラザ七里へのイルミネーション事業に対しては、22万5000円の補助金を支出している。

**問** イベント開催における塩むすび（中央防災広場）の利用条件を問う。

**答** 公序良俗の範囲内で、周辺住民の理解を得るなかでの利用をお願いしている。料金は原則無料であるが、利用日の2週間前までに都市整備課と打ち合わせを行い、申請書を提出していただくこととしている。

**問** 公共施設等総合管理計画における、地区公民館の今後の対応方針を問う。  
**答** 重点方針として「点検を継続し、結果を施設保全などに活用すること」「点検結果を踏まえ、長寿命化を図ること」「老朽化対策等の専任部門を設置し、維持管理を進めること」「将来的な人口減少による利用者の減少を踏まえ、複合化や統廃合を検討すること」を定めている。

廣瀬明弘議員

政和クラブ



関係機関の強みを生かし、創業支援を展開している  
甲州市商工会

Q 地域活性化に向け、創業支援の充実を

A 関係機関と連携し、充実を図る

**問** 商店街の活性化や元  
気なまちづくりのために、  
創業支援が必要だと考える  
が、本市ではどのような支  
援を行っているのか。

**答** 県の商店街再生支  
援事業や甲州市商店街空き店  
舗対策補助事業により、改  
装費や家賃補助等の支援を

行っている。また、昨年5  
月に甲州市創業支援事業計  
画が国の認定を受け、商工  
会等と連携した支援活動を  
開始している。

**問** 甲州市創業支援事業  
計画の内容を問う。また、  
計画に基づき、どのような  
支援を展開しているのか。

での、約3年間が基準にな  
ると考えている。

**問** 本市の商工振興資金  
貸付制度は、1年以上事業  
所を有していないと融資を  
受けることができないもの  
である。新たに事業を始め  
る者に対し、資金面での支  
援を行う考えはあるのか。

**問** 事業承継支援事業の  
内容を問う。

**答** 平成27年度に事業承  
継に対する考え方を把握す  
るため、市内の事業主等を  
対象にアンケート調査を実  
施した。現在は、その結果  
をもとに、本市の状況に合  
ったセミナーや個別相談会  
を開催している。

**問** 実施したアンケート  
調査では、どのような意見  
が寄せられたのか。

**答** 商工会、金融機関並  
びにやまなし産業支援機構  
と連携し、ビジネスモデル  
の構築から創業後のフォロ  
ーアップまで支援を提供す  
るものである。また、JA  
とも連携し、農工商連携に  
よって6次産業化にも対応  
するものである。計画に基  
づき、平成28年度に事業者  
支援機関連絡会を立ち上  
げ、それぞれの役割を明確  
にし、創業者に対して的確  
な支援を行っている。

**問** 創業後のフォローア  
ップは、どのくらいの期間  
受けることができるのか。

**答** 事業が軌道に乗るま  
で、約3年間が基準にな  
ると考えている。

**問** 本市の商工振興資金  
貸付制度は、1年以上事業  
所を有していないと融資を  
受けることができないもの  
である。新たに事業を始め  
る者に対し、資金面での支  
援を行う考えはあるのか。

**答** 平成28年度から29年  
度にかけて、甲州市商工振  
興計画の見直しを行うこと  
となっており、商工振興資  
金を幅広く利用できるよう  
にするかも含めて検討して  
いきたい。

**問** 創業支援の充実で移  
住・定住につながるよう  
な、具体的な支援策は考え  
ているのか。

**答** 事業承継をするタイ  
ミングが分からない、後継  
者が決まっていないという  
意見が多く寄せられた。

**問** 支援を展開するため  
に、関係機関とどのように  
連携しているのか。

**答** 事業者支援機関連絡  
会において、事業承継支援  
についても協議し、支援を  
実施している。平成28年度  
は、商工会と連携したセミ  
ナーや、やまなし産業支援  
機構と連携した個別相談会  
を開催した。今後も、情報  
提供など関係機関と連携し  
ていきたい。



日向 正議員

希望の風

A

バス輸送強化の結果を鑑み検討する

Q

閉館中の  
塩寿荘

アンケート実施の必要性は

**問** 市老人福祉センター（塩寿荘）検討委員会の結論、方向性を出すに当たり、意見交換会やアンケートの実施が必要だと考えるが、いかがか。

**答 副市長** 利用者との意見交換を行った結果、平成29年度から勝沼健康福祉センターへのバス輸送を強化することとなった。この効果を検証した後、アンケートの実施を検討したい。

**問** 老人趣味のグループ活動への支援策を問う。

**答** 生涯学習課と連携し、市民文化会館の空き部屋を活用したいと考えている。

**問** 未処分の備品の現状と活用について問う。

**答** 主なものは勝沼健康福祉センターで利用、保管し、他の物品は社協地区支部の公的施設で利用している。

**問** 公共施設等総合管理計画案の市民への周知方法

を問う。

**答** 全文はホームページで、概要は市広報紙を通じて周知を図る。

**問** 市が所有する土地、建物の売却や賃貸での収益確保について、見解を問う。

**答** 利用可能な建物は売却、賃貸するなど、さまざまな方策を検討していきたい。

**問** 地域防災計画では、各種警報は総務課から各地域の自主防災会長へ直接伝達することとなっているが、伝達方法と訓練状況を問う。

**答** 自主防災会にはNIT回線を使用し確実に伝達することとしている。全市のな情報伝達訓練は行っていないが、訓練の必要性は十分認識している。

**問** 防災時に市が設置する医療救護班の構成を問う。

**答** 市、医師会医師、看護師会看護師、薬剤師会薬剤師、市保健師や健康増進

課の健康企画医療担当職員で構成し、消防署等と連携して被災者の救護に当たることとしている。

就労移行支援サービス  
市内5法人が農業を活用

**問** 農業と福祉の連携による、農福連携事業への取り組み状況を問う。

**答** 就労移行支援等のサービスで市内5法人が農業を取り入れている。内容はブドウ、野菜等の作付けや販売、果物等の出荷用箱づくり、畑の除草作業等で、市内利用者は平成28年度末現在で25人である。

**問** 直売所の開設や商品開発の支援について問う。

**答** 加工して販売する、

6次産業化の取り組みも必要だと感じている。まずは農業者と福祉関係者の間に入り、共に考えることから始めていきたい。

**問** ぶどうの丘の売店、宿泊、温泉の客数と売り上げについて問う。

**答** 平成27年度は、宿泊1億2261万円、利用者数1万5422人。売店5億608万円、利用者数16万8331人。温泉4987万円、利用者数11万2515人であった。

**問** 自転車専用道路の設置について、見解を問う。

**答** 自動車交通量や自転車の利用状況を勘案すると設置は難しいと考えている。



平成29年度に解体予定の塩寿荘。今後の方向性が問われる

岡部紀久雄議員

政和クラブ



平成29年度に歩道改修予定の塩山バイパス

Q 塩山バイパス 歩道改修の計画は

A 7年間で1800㍎の改修を実施する

**問** 塩山バイパスは開通して40年余が経過し、現在では大型スーパー等の進出により、塩山地域の商業経済の中心となっているが、今後の歩道改修の計画を問う。

**答** 市民生活に欠かせない重要な路線である塩山バイパスは、近年、老朽化と

ともに歩道部分が一定の勾配でなく、市民から改修の要望が多く寄せられている。

市では、通学児童や交通弱者対策として、平成28年度に事業認可を受け、仲沢ガード交差点から西広門田橋交差点前の全長1800㍎、幅員1・5㍎の改修を実施しており、計画事業費は約3億5000万円、計画期間は7年間の予定である。

**問** 平成29年度予算による工事区間を問う。

**答** 平成28年度に一部改修を実施している区間を含め、青橋交差点から於曾橋西詰前までの約200㍎と、28年度測量設計残り区間の西広門田橋前までの1250㍎を予定している。

ふれあいの森総合公園  
リニューアルを予定

**問** 塩山ふれあいの森総合公園のリニューアルにつ

いて問う。

**答** ふれあいの森総合公園は、平成15年にオープンし、自然散策ゾーンが10・2㍎、スポーツゾーンが6・1㍎あり、心と憩いの空間として市民に利用されている。リニューアルについては、29年度に遊具広場で利用されている遊具の一部を、総合グラウンド北側の芝生広場へ移転する計画である。移転先はコンパクトで傾斜が緩やかなため、ファミリーや高齢者の方にも安心して利用していただけると考えている。

**問** ふれあいの森総合公園の駐車場は、イベントや連休時以外には空きスペースが見られる。交流人口の増加につなげるため、キャンプングカー向けの電源付き駐車場の整備する考えはあるか。

**答** 車中泊用の有料電源付き駐車場の整備は、駐車場の空きスペースの有効活用や新たな来訪者の開拓として、また、市内での食料や土産の購入など経済効果も見込まれるため、早急に検討していきたい。

**問** 塩寿荘の閉鎖から約半年が経過したが、社会福祉協議会を中心に代替施設等に対応している状況と認識している。市老人福祉センター検討委員会は、数回の委員会を開催し、塩寿荘解体工事を平成29年度予算に計上している。今後、土地等の残務整理、施設の必要性や財源確保等について協議していくと思うが、今後の予定や現状への対応策等について問う。

**答 副市長** 検討委員会では、勝沼健康福祉センターへのバスの送迎、趣味の家の施設の振り替えなど、しばらく状況を見るなかで方向性の検討を継続していくことを確認した。今後の取り組みは、利用者の利便性をより高めるため、4月から勝沼健康福祉センターへのバス送迎を強化していく考えで、しばらくの間、その効果を注視していく必要があると考えている。



古屋匡三議員

希望の風

A 現状を維持しつつ利用策を模索する

Q 宮光園 交流施設として積極的な活用を

**問** 宮光園は日本のワイン産業の歴史を伝える貴重な遺構であるが、第3次整備計画の進ちよく状況を問う。

**答** 宮光園は近代産業遺産として、また日本のワイン産業草創期の遺構として、今後、一層観光拠点としての重要度が増すと思われる。現在は周辺整備の一環として、隣接する市道の舗装の打ちかえ工事を実施しており、これに合わせて青空公園へのバスレーン及び多目的スペースの設置を行った。

**問** 宮光園の交流施設としての機能を発揮するには施設の積極的な活用が重要である。市民が白蔵を気軽に利用できる環境を整えるべきだと感じるが、見解を問う。

**答** 現在はコンサートや懇談会など市に関連するイベント等のみを想定している。当面は現状のままとしていきたいが、有効利用につながるよう、調査・研究していきたい。

るよう、調査・研究していきたい。

高野・土屋渡仏140年記念事業を計画

**問** 大日本葡萄酒会社が設立され、高野正誠、土屋龍憲の2人の青年が、ワイン醸造技術の習得のため、明治10年10月10日にフランスに渡って140年となるが、記念事業を企画する考えはあるか。

**答** 内容は未定だが記念事業を計画している。今後、勝沼ワイン協会、塩山ワインクラブと協力して進めていきたい。

**問** 勝沼氏館跡の今後の整備計画を問う。

**答** 現在、緊急を要する木橋の撤去と改修、トイレの設備改修、説明板の設置を平成28年度末までに完了できるように整備中である。

今後は、地権者への保存管理活用計画の説明会や再整備事業、土地の公有化事業などを進めていく。

**問** ぶどうの丘の経営戦略について問う。

**答** 現在、投資計画、財政計画を柱とした経営健全化計画とするため、修繕計画の見直しを踏まえ全体的な見直しを行っている。平成28年度中に作成し、速やかに報告する。

**問** 平成27年度には、甲州市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、担当課では人口対策に取り組んでいると思う。現在、地方創生加速化交付金事業を利用し、各種事業が予算化さ

れているが、今後の計画、取り組み方針を問う。

**答** 甲州市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、5つの基本目標に向け、31事業を平成28年度予算に計上し事業に取り組んでいる。特に、移住・定住推進策については、28年度から37年度の間を空き家バンク事業のリニューアル第1期とし、移住支援コンシェルジュ組織の設立を推進、支援する。また、移住を検討している方に向けた、お話し移住施設を2施設整備しているほか、出会いサポート事業における婚活イベント等の開催や移住情報総合案内サイトの構築などを行っており、今後も目標達成に向け努力していく。



交流施設として活用が期待される宮光園の白蔵

※移住に関する総合案内役のこと

# 常任委員会レポート

## 地方創生の拠点として

### 勝沼支所別館をシェアオフィスに整備

総務常任委員会を3月10日、14日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

総務常任委員会を3月10日、14日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■平成28年度一般会計補正予算(第6号)

問 各種企業のオフィス誘致について、何か手立てを得ているのか。

答 最終的な目標は、空き家や民間の貸店舗を利用してもらおうことだが、地域の状況を把握するためには、ある程度の期間が必要である。

総務常任委員会  
◎相澤俊行 ○中村勝彦  
岡 武男 矢野義典  
丸山国一 岡部紀久雄

■市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

問 育児休業の取得状況を問う。また、取得しやすくするための取り組みはしてきたのか。

答 4月1日現在で、産前産後休業と育児休業の職員が、10人という状況である。

問 仕事に穴をあけてしまう後ろめたさから、介護休業の取得に踏み切れないケースがある。休業中の業務を他の職員で補う体制があれば、取得しやすくなるかと考えるが、いかがか。

答 担当内で業務を分散しながら、必要に応じて臨時職員を雇用するなど、安心して介護休業を取得できる体制を整備していきたい。



2階部分がシェアオフィスとして整備される勝沼支所別館

## 教育民生

### 甲州市環境センター 事業系ごみの受け入れが終了

教育民生常任委員会を3月8日、9日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正

問 甲府・峡東クリーンセンターの稼働に伴い、市環境センターのごみ処理手数料は、どのようなになるのか。

答 事業系ごみは、甲府・峡東クリーンセンターに持ち込むこととなり、市環境センターの料金表から削除される。家庭系「可燃粗大ごみ」及び「不燃粗大ごみ」は、5<sup>キ</sup>未満が無料

問 この条例改正により、介護サービスの内容に変更があるのか。

答 介護サービスの内容に変更はない。

\*各常任委員会の◎は委員長、○は副委員長を表す



事業系ごみの受け入れが終了となる甲州市環境センター

## 簡易水道事業特別会計

### 1億6300万円を減額補正

建設経済常任委員会を3月8日、9日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■平成28年度一般会計補正予算(第6号)

問 観光費について、150万円の財源更正が行われているが、内容を問う。

答 公共施設整備基金からの繰入金が、150万円減額となったため、その減額分を一般財源から充当するものである。

問 道路橋りょう費につ

いて、道路新設改良費が2159万円減額となったが、内容を問う。

答 社会資本整備総合交付金の決定額が要望額より低かったため、市道山37号線道路改良事業は約1000万円、グリーンベルト設置事業は約600万円、市道上於曾81号線歩道改修事業は約450万円など、事業費を減額するものである。

■平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)

問 平成28年度に設置予

問 本市において、地域密着型通所介護事業所は何か所あるのか。また、その運営状況を問う。

答 本市に4カ所あり、定員12人と定員18人の事業所がそれぞれ1カ所、定員10人の事業所が2カ所ある。また、4カ所全てが定員以内で利用されている。

■平成28年度一般会計補

正予算(第6号)

問 塩山南小学校大規模改修工事が完了したが、予算の執行状況を問う。

答 予算の執行率は91.6%である。

■平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)

問 一般被保険者療養給付費を、3000万円増額

が、整備事業全体の今後の見通しを問う。

答 東部玉宮地域分は約2400万円、上下小田原地域分は約1億1500万円、菱山地域分は約2400万円、工事が遅らせなかった。工事を遅らせないと

する理由を問う。

答 1月診療分の医療費が3月に請求されるが、1月はインフルエンザ等が最も流行する時期であるため、医療費の増加を見込み、増額計上した。

教育民生常任委員会

◎高畑一幸 ○川口信子  
平塚 義 古屋匡三  
古屋 久

めにも、この減額分を平成29年度予算に計上し、早期完成を目指していく。

建設経済常任委員会

◎黒川武雄 ○野尻陽子  
廣瀬宗勝 夏八木盛男  
日向 正 廣瀬明弘

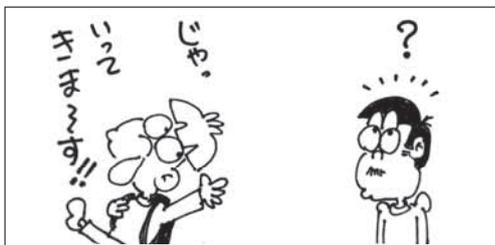


上下小田原地域への配水を予定している上萩原浄水場

# 「甲州だより」

No. 43 「五月病？」  
ご がつ びょう

作・三森 清



表紙の写真  
穏やかな日差しに包まれた4月上旬、塩山北小学校において入学式が行われました。緊張した式を終えて、初めて入った教室。担任の先生のお話にとっても元気な声で「はいっ!」と返事をしていた姿が印象的でした。

## 6月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5	6	7	8	9	10
					本会議 (開会)	
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予備日	常任委員会 (教育民生 建設経済)	
25	26	27	28	29	30	7/1
	常任委員会 (総務)		本会議 (閉会)			

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください。)

○傍聴される方は市役所本庁舎3階へお越しください。

## 輝く甲州市民



八巻隼人さん  
塩山小屋敷 (12歳)

(第33回全国小学生ソフトテニス選手権大会(団体戦)で第3位)

## 甲州市ホームページで 議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「議会広報」をクリックしてください。

**こちら編集室**  
■桜の季節が終わり、日に暖かさを感じられるようになりました。大型連休中の発行となる今号、多くの皆様にご覧いただけた幸いです。  
■市内の桜の名所、いくつか挙げると、恵林寺、慈雲寺、大善寺、甚六桜、景德院、他にもたくさんあります。桜は標高の低いところから咲き始めるので、甲州市桜前線は、恵林寺から始まり景德院に上っていきます。  
■秋になると紅葉前線が見られます。桜前線とは逆に、標高の高いところから低いところに向かっていきます。

す。標高差が約1700メートルある本市。標高を気にしながら前線を予想してみるのはどうでしょうか。  
■当市議会広報44号が、山梨県広報コンクールで最優秀賞を受賞しました。桜と紅葉どちらもきれいです。が、桜前線のようにますます上っていきけるよう、今後も研鑽に努めます。(平) ■議会広報編集委員会  
議長 丸山 国一  
編集委員長 廣瀬 明弘  
副委員長 廣瀬 宗義  
委員 廣瀬 宗勝  
委員 古屋 久  
委員 夏八木 盛男  
委員 高畑 一幸  
委員 中村 勝彦